

記入例：卒業後、福島県内で理学療法士等として従事した場合

様式第8号（第10条関係）

理学療法士等修学資金返還猶予申請書

令和〇年〇月〇日

福島県知事

申請者 住所 福島市〇〇町〇—〇〇

申請者が自署してください。

氏名 **福島 太郎**

電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇

2つ以上ある場合は、全ての番号を記載してください。
不明な場合はお問い合わせください。

理学療法士等修学資金の返還の猶予を受けたいので、別紙証明書類を添

記

| | | | |
|-------------|--------------------------|---|---|
| 学校 | の名称 | 〇〇専門学校 | |
| 貸与決定番号 | 第 | 〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇 | 号 |
| 返還猶予を希望する期間 | 令和〇年4月1日 から 令和〇年3月31日 まで | | |
| 返還猶予を希望する金額 | 1番に〇 | 1,800,000円 | |
| 理由 | 該当事項 | 1 学校等を卒業した後2年以内に理 つ、免許取得後直ちに県内の施設等 従事し、引き続き当該業務に従事し に該当) 2 学校等を卒業した後引き続き他の 科等に限る。)に進学したため(条 3 災害、疾病その他やむを得ない事 3号に該当) 4 契約が解除された後においても、 ため(条例第9条第4号に該当) | |
| | 説明 | (具体的理由) | |

これまでの貸与金額の総額を記入してください。
不明な場合はお問い合わせください。

就職日（勤務開始日）を起算日として、以下により終期日を換算してください。
 ○貸与期間が2年以下：就職日（勤務開始日）から3年間
 ○貸与期間が3年間：就職日（勤務開始日）から4年半
 ○貸与期間が4年間：就職日（勤務開始日）から6年間
例：
 ★貸与期間が2年以下、就職日が4月1日
 ⇒終期日は3年後の3月31日
 ★貸与期間が3年間、就職日が4月1日
 ⇒終期日は4年半後の9月30日
 ★貸与期間が4年間、就職日が4月15日
 ⇒終期日は6年後の4月14日

例：学校を卒業後、資格を取得し、福島県内で理学療法士（自分の職種を記載）として従事しているため。

備考

1から4までのうち該当する番号を○で囲むこと。

記入例：卒業後、やむを得ない事由により福島県内で理学療法士等として従事できない場合（就職活動中など）

理学療法士等修学資金返還猶予申請書

令和〇年〇月〇日

福島県知事

申請者 住所 福島市〇〇町〇—〇〇

申請者が自署してください。

氏名 福島 太郎

電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇

2つ以上ある場合は、全ての番号を記載してください。不明な場合はお問い合わせください。

理学療法士等修学資金の返還の猶予を受けたいので、別紙証明書類を添

記

| | | |
|-------------|--|--|
| 学校等の名称 | 〇〇専門学校 | やむを得ない事由が生じている期間としてください。なお、原則、最長で1年間を限度とします。 |
| 貸与決定番号 | 第 〇〇〇〇〇、〇〇 号 | |
| 返還猶予を希望する期間 | 令和〇年4月1日 から 令和〇年3月31日 まで | |
| 返還猶予を希望する金額 | 1,800,000円 | |
| 理由 | 1 学校等を卒業した後2年以内に理学療法士等の免許を取得し、かつ、免許取得後直ちに県内の施設等において理学療法士等の業務に従事し、引き続き当該業務に従事しているため（条例第9条第1号に該当） | |
| | 2 卒業した後引き続き他の学校等（契約時の職種に係る学科に限る。）に進学したため（条例第9条第2号に該当） 3 災害、疾病その他やむを得ない事由が生じたため（条例第9条第3号に該当） 4 契約が解除された後においても、引き続き学校等に在学しているため（条例第9条第4号に該当） | 3番に○ |
| 説明 | (具体的理由) 例：学校を卒業後、資格を取得したが、現在就職活動中であるため。など、やむを得ない事由を具体的に記入してください。 | |

これまでの貸与金額の総額を記入してください。不明な場合はお問い合わせください。

備考

1から4までのうち該当する番号を○で囲むこと。